

(電子メール施行)  
農技第1090号  
令和2年5月28日

各関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

令和2年度病害虫発生予察注意報 第1号を發表します。

果樹カメムシ類のフェロモントラップにおいて平年値を大幅に上回る誘殺が確認されています。果樹園での発生状況に十分注意し、防除対策を徹底するようご指導願います。

## 令和2年度病害虫発生予察注意報 第1号

### 果樹カメムシ類の発生状況と防除対策について

- |            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 1 対象作物     | 果樹類 (特にナシ、モモ、カキ、カンキツ)              |
| 2 病害虫名     | 果樹カメムシ類<br>(主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ) |
| 3 発生地域     | 県下全域                               |
| 4 発生程度     | 多い                                 |
| 5 発生時期     | 5月下旬～7月下旬                          |
| 6 発生状況について |                                    |

(1) 一般的に、果樹カメムシ類の発生量には隔年性があり、本年は表年(発生の多い年)に該当するが、加西市のフェロモントラップにおける4月から5月4半旬までの合計誘殺数は、チャバネアオカメムシで1024頭(表年の過去5年分平均値193.4頭)、ツヤアオカメムシで99頭(同平均値4.9頭)と、通常の表年より極めて多い状況にある(図1、図2)。

(2) 朝来市のフェロモントラップでは平年より早い時期からチャバネアオカメムシの誘殺がみられており、4月から5月4半旬までの合計誘殺数は168頭で、表年の過去3年分平均値の50.0頭を大きく上回っている(図3)。

(3) 加西市の予察灯におけるチャバネアオカメムシの4月から5月4半旬までの合計誘殺数は9頭で、表年過去5年分平均値(6.8頭)と同等～やや多い(表)。朝来市の予察灯では現時点で誘殺は見られていないが(表)、多発生がみられた2019年は5月

下旬から誘殺数が増加しており、今後、気温の上昇に伴って活動が盛んになることで誘殺数が増加することが予想される。

- (4) 加西市と新温泉町のナシ園では、5月上旬からチャバネアオカメムシもしくはツヤアオカメムシの成虫が確認されており、加西市のナシ園では幼果の被害も認められている。

## 7 今後の発生予想について

- (1) 今後、気温の上昇に伴って果樹カメムシ類の活動が盛んになり果樹園への飛来量が多くなると予想される。向こう1か月の近畿地方の気象予報では、気温が平年より高く推移するとされており、今後の被害発生に注意が必要である。
- (2) 本年は暖冬により成虫の越冬量が多かったと考えられ、越冬世代の園地への飛来が長期化するおそれがある。

## 8 防除上の留意点

- (1) 果樹園への飛来量や飛来時期は、周辺環境の影響を大きく受けるため、地域や園地によって異なる。各園地で見回りを実施し、発生や被害（写真）を認めたら速やかに薬剤による防除を行う。山林に近い園地では飛来量が多い傾向にあるため、特に注意する。
- (2) ナシやモモの有袋栽培では、袋かけ作業を早め実施する。袋をかけていても外部から吸汁される場合があり、多発時には思いがけず被害果が増えるおそれがあるため、袋かけ後の発生状況にも注意する。
- (3) 果樹カメムシ類は夜間を中心に活動するため、薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果が高い。また、活動範囲が広いため、薬剤散布は広域的に一斉に実施し、地域全体の密度を下げるのが望ましい。
- (4) 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

なお、合成ピレスロイド剤は効果が高く残効も期待できるが、天敵昆虫に対する影響が強く、ハダニ類など他害虫を誘発するおそれがあるため、使用にあたっては他の害虫の発生状況も十分に考慮する。

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

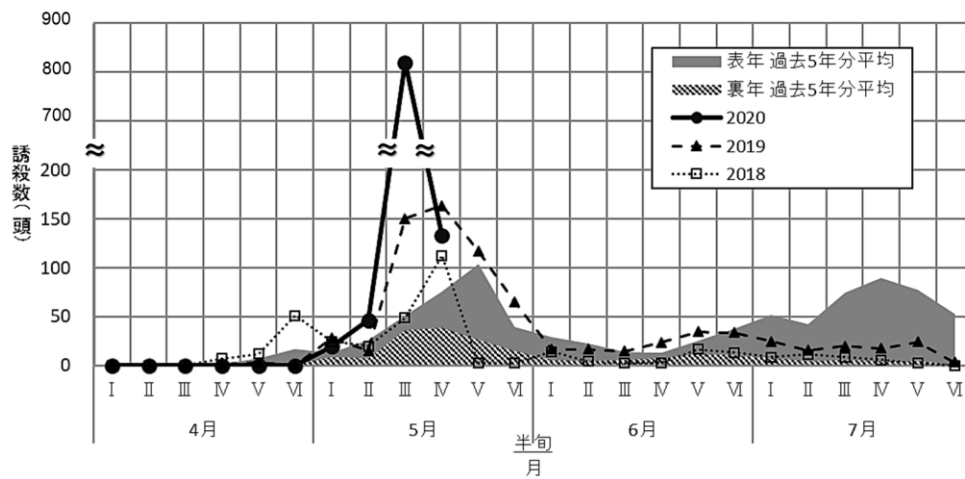


図1 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（加西市）

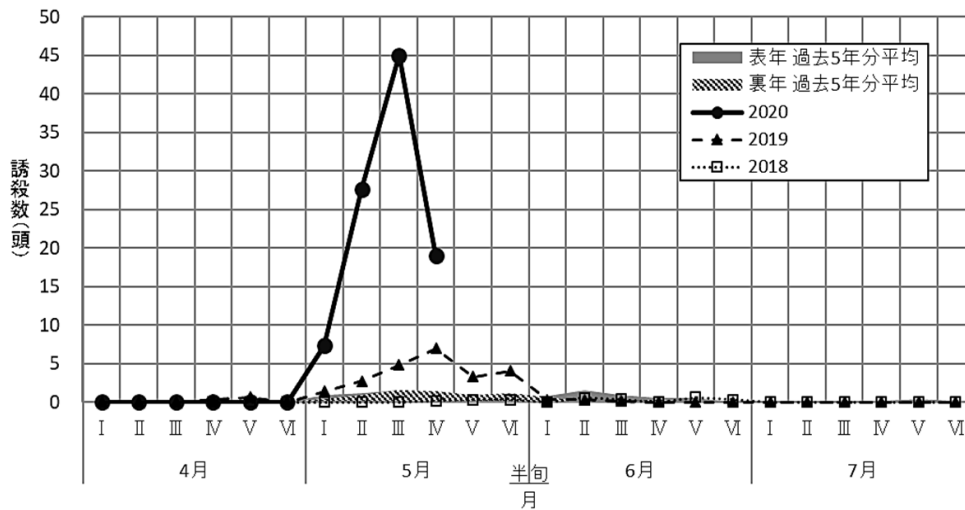


図2 フェロモントラップにおけるツヤアオカメムシ誘殺数の推移（加西市）

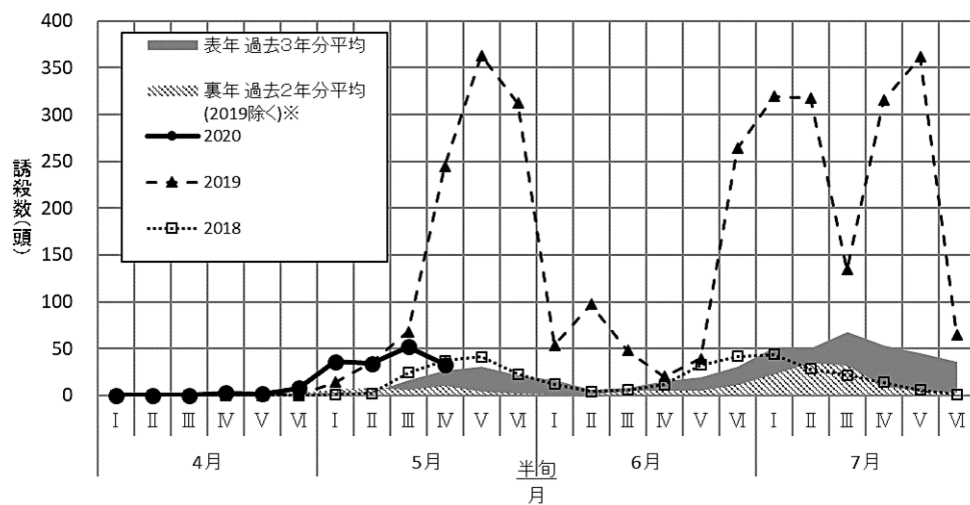


図3 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（朝来市）

※2019年は裏年としては異常な多誘殺があったため、裏年の平年値から除外した。

表 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数

月-半旬	加西市				朝来市			
	2020年	2019年	表年 過去5年	裏年 過去5年※1	2020年	2019年	表年 過去5年	裏年 過去5年※1
4月(I~VI)	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2
5-I	0	0	0.5	0.2	0	0	1.2	0.2
5-II	2	0	1.4	0	0	0	0.8	0
5-III	3	1	0.9	0.5	0	0	0.2	0
5-IV	4	1	4.1	0	0 ※2	1	2	0.2
5-V	-	1	2.8	0	-	51	0.2	0
5-VI	-	3	1.5	0	-	18	1.5	0.2
合計	9	6	11.2	0.7	0	70	6.1	0.8

※1 2019年は裏年としては異常な多誘殺があったため、裏年の平年値から除外した。

※2 5月16日~19日の値

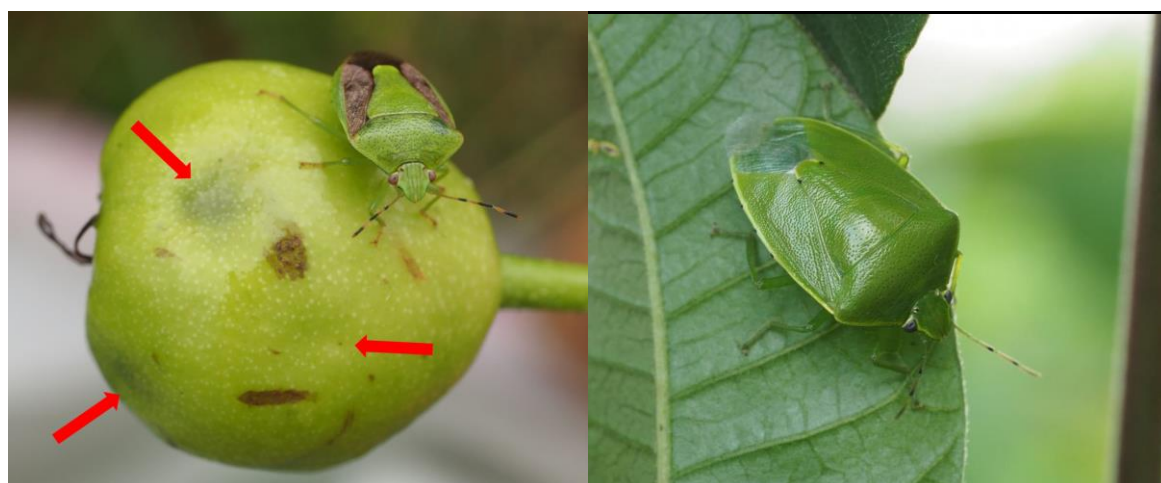


写真 果樹カメムシ類の成虫およびナシの幼果被害

(左：ナシでの吸汁痕(赤矢印)とチャバネアオカメムシ成虫 右：ツヤアオカメムシ成虫)

\*この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載しています。

(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222